

## 骨太の方針 2023 策定に対する提言 薬剤耐性（AMR）対策の促進に向けて

2023 年 5 月 24 日  
AMR アライアンス・ジャパン

### 骨太の方針 2023 策定に対する提言

ワンヘルス・アプローチによる薬剤耐性（AMR）対策を経済安全保障等の視点からも促進し、感染症の脅威に対する備えを強化するために国際的にも主導的な役割を果たす。

AMR アライアンス・ジャパンは、薬剤耐性（AMR: Antimicrobial Resistance）感染症対策を進めるため、上記の文言を骨太の方針 2023 に盛り込むことを提言する。

経済財政運営と改革の基本方針（以下、骨太の方針）においては、2016 年から毎年「薬剤耐性（AMR）対策の推進強化、研究・検査・治療体制の充実など」の文言が盛り込まれ、2022 年には「薬剤耐性対策において市場インセンティブなどの薬剤耐性菌の治療薬を確保するための具体的な手法を包括的に検討した上で結論を出し、国際的な議論において主導的な役割を果たす」と AMR 対策の重要性が強調されてきた。

『「骨太の方針 2023 策定に対する提言 薬剤耐性（AMR）対策の促進に向けて」の背景』（別添）に記載の通り、国内外で薬剤耐性対策が進んでいる。2023 年 G7 議長国として、2024 年国連総会ハイレベル会合やその先を見据えて、感染症対策は自国のみ及び特定の領域のみでは完結しないという考えに基づき、国際社会における責務を果たすことが重要である。

以上

AMR アライアンス・ジャパンとは 2018 年 11 月に設立した、AMR 対策をマルチステークホルダーで議論する独立したプラットフォーム。2023 年 5 月現在の構成メンバーは、MSD 株式会社、「子どもと医療」プロジェクト、塩野義製薬株式会社、島津ダイアグノスティクス株式会社、住友ファーマ株式会社、動物用抗菌剤研究会、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社、日本医師会、日本医真菌学会、日本医療薬学会、日本化学療法学会、日本環境感染学会、日本感染症学会、日本小児感染症学会、日本製薬工業協会、日本 TDM 学会、日本病院薬剤師会、日本薬学会、日本薬剤師会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床微生物学会、ピオメリュー・ジャパン株式会社、姫路市、ファイザー株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、日本医療政策機構（事務局）である。